

日 誌 (昭和41年8月)

【国 内】

- 3日 ○銀行券の発行限度額、24,500億円に改訂(従来は21,500億円)
- 25日 ○長期信用銀行、長期貸出金利および金融債利回りの引下げを決定(「要録」参照)

- 26日 ○生命保険会社、長期貸出金利の引下げを決定(「要録」参照)
- 29日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利に関する申合せ方式を変更(「要録」参照)

【海 外】

- 1日 ○中共、党中央委総会(11中全会)開催(12日まで)
- 2日 ○米インランド・スチール社、薄板価格を2.1%引上げ、10日より実施する旨発表(各社追隨)
- ブラジル政府、現行賃金協定調印後1年間の賃上げを禁ずる賃金凍結令を公布
- 3日 ○ASA(東南アジア連合)第3回外相会議開催(5日まで)
- シンガポール、IMF、世銀に加盟
- 韓国、外資導入法を公布(9月2日より施行)
- 4日 ○英国、外国為替持ち高規制を強化
- 9日 ○アルゼンチン、ペソの公定為替相場を切下げ(買1米ドル=202ペソ→215ペソ、売1米ドル=205ペソ→218ペソ)
- 英国、ロンドン手形交換所加盟銀行に貸出規制枠遵守を要請
- 11日 ○インドネシア、マレーシア、平和協定に調印
- 12日 ○英国、物価および所得法成立
- 16日 ○ファースト・ナショナル・シティ銀行(ニューヨーク)、プライム・レートを5%から6%へ引上げ(各行追隨)
- マレーシア、マラヤ・ドルを明年6月から金にリンクする意向を表明
- 17日 ○米連邦準備制度理事会、一部の定期預金に対する所要準備率を5%から6%へ引き上げる旨発表(準備市銀行9月8日、地方銀行9月15日以

- 降実施)
- マレーシア、シンガポール、明年6月より共通通貨の廃止を決定
- 18日 ○IMF、米国が250百万米ドル相当額のイタリア・リラを引き出し、100百万米ドル相当額のカナダ・ドル引出し取決めに締結した旨発表(同日、IMF、イタリアから250百万米ドル相当額のイタリア・リラを借り入れた旨発表)
- マレーシア、英連邦との特惠関税を廃止
- 中共、文化大革命祝賀大集会
- 19日 ○7月8日以来の米五大航空会社ストライキ解決
- 20日 ○中共、紅衛兵運動起る
- 22日 ○ニューヨーク株式(ダウ工業株30種平均)、800ドルの大台を割り、792.03ドルに下落
- 23日 ○タイ、平価切上げ(1米ドル=20.80パーツ→20.745パーツ)
- 26日 ○10か国グループ、10か国蔵相会議コミュニケおよび蔵相代理会議報告を発表
- 28日 ○アジア開発銀行設立第4回準備委員会、マニラで開催
- 29日 ○フランス銀行、流動比率を引上げ(31→34%)
- 31日 ○ベネズエラ、L A F T Aに加盟(これに伴うL A F T A加盟国数10か国)
- ソ連党中央委員会、中共毛路線を非難する声明発表